

# 伝統に生きる

## —あらかわの工芸技術—



### い しょう ぎ にん ぎょう

## 衣裳着人形

たけ なか しげ お  
竹 中 重 男

(平成18年度作品)  
16ミリ映画・ビデオ  
カラー・22分

### プロフィール

住所、荒川区町屋1丁目21番7号

昭和10年(1935)東京都荒川区生れ

竹中さんの祖母・鶴子<sup>つるこ</sup>氏が明治中期に技術を修得。

父・幸輔<sup>こうすけ</sup>氏は、15歳の時に鶴子氏について修業を始めた。竹中さんは、幼少の頃から父の仕事を手伝い、大学卒業後の昭和32年から衣裳着人形の仕事に専従し、今日に至る。

雛人形、五月人形等のみを専門とする職人が多いが、竹中さんは雛人形、五月人形、浮世人形、風俗人形、市松人形など様々な人形を手がける。また、各工程の分業化が進んでいる中で、人形師として企画・構想し、原型作り、手足作り、胴組、着せ付けまでを一貫して行う、優れた技術を保持する。

企画・著作 荒川区教育委員会 制作 株式会社 毎日映画社



## ■ 用具・工具・材料

### 「用具・工具」

彫刻刀、錐、金槌、衣紋棒、丸鋸、紙裁包丁、カッター、竹べら、竹串、電気ドリル、ミシン、胡粉刷毛、目打ち、小刀、鋏、鋸、ペンチ、アイロンなど。

### 「材料」

稲の藁、柳の木、和紙、木毛、膠、胡粉、綿、針金、糊、布地(金襴、縮緬など)、組紐、糸など。



## ■ 工程 『親王雛の場合』

### (1) 構想・原型作り

人形全体の意匠を考え、人形生地師が頭の生地を桐塑で作り、人形頭師が頭を仕上げる。

### (2) 胴組

胴は藁を一定の太さに束ねたものを切断して作る(「藁胴」)。

腕は、針金・木毛・和紙で「腕巻」を作る。

胴の腕が通る部分に針金を通し、腕巻を取り付ける。

### (3) 手足作り

手足は木彫りと桐塑で作って、胡粉で地塗り、中塗り、上塗りを行う。

### (4) 衣裳作り

- ・布地の色、柄の組み合わせを決める。
- ・型紙に合わせて、表地、裏地、重ねに使う布地を裁断する。
- ・表地に和紙を袋貼りする。
- ・袖口の重ねは縫ってから、1枚1枚ずらして作る。

### (5) 着せ付け

胴組したものに縫った衣裳を着せる。

袖や肩に綿を入れてふくらみを出し、全体の着こなしを整える。

### (6) 振り付け

人形全体のバランスを考えながら、肩や肘の部分に目打ちをあて、折り曲げる。腕や袖の長さを調整し手をつける。

### (7) 頭付け

人形生地師、人形頭師、人形結髪師によってできあがった頭を人形の胴体につける。

### (8) 完成



- 「ビデオテープ」 荒川区内の図書館で貸し出ししています。貸し出し期間は、1回15日間です(図書資料扱いのため)。また、荒川ふるさと文化館郷土学習室で閲覧できます。
- 「16ミリ映画」 荒川区立南千住図書館で貸し出ししています。貸出期間は、1回5日間です。ただし、団体登録が必要です。尚、映写機も貸し出ししています。

### 問い合わせ先

#### ■ 内容等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館・・・3807-9234

#### ● 荒川区のホームページ

<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/>

#### ■ ビデオテープ、16ミリ映画貸出しに関すること

南千住図書館・・・3807-9221

荒川図書館・・・3891-4349

尾久図書館・・・3800-5821

町屋図書館・・・3892-9821

日暮里図書館・・・3803-1645

#### ● 荒川区立図書館のホームページ

<http://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>